

## 5 クマ類〈クマ科〉

### ア 和名：ヒグマ〈ヒグマ属〉

英名：Brown Bear

学名：*Ursus arctos*

分布：ヨーロッパ、中近東、中国、ロシア、  
北アメリカ、日本



【ヒグマ】

### イ 和名：ツキノワグマ（アジアクロクマ） 〈ツキノワグマ属〉

英名：Asian Black Bear

学名：*Selenarctos thibetanus*

分布：インドから日本



【ツキノワグマ】

（財）東京動物園協会提供

## (1) 動物の特徴と同定

### ア ヒグマ

分布：ユーラシア北部、北アメリカにひろく分布する。

特徴：分布が広く、生息地や栄養状態により体格も幅がある。ふつうヨーロッパヒグマ、グリズリー（アメリカヒグマ）、コディアックヒグマ（アラスカヒグマ）、エゾヒグマの4亜種に分類されている。

頭胴長：170～280cm

体重：オス 100～780kg、メス 60～205kg

習性等：

- ・ふつう単独でくらす。
- ・植物の葉、実、根などの植物質のほか、昆虫、サケ、げっ歯類、緬山羊、腐肉などを採食する。

- ・4～6歳で性成熟
- ・見かけ上の妊娠期間は195～266日間だが、着床遅延があるため実際の妊娠期間は56～120日間。
- ・冬眠中の1月から3月に出産する。1産1～4仔
- ・寿命は、飼育下で40年。

## イ ツキノワグマ（アジアクロクマ）

分布：西はアフガニスタンから東は日本まで、森林や藪のはえている丘陵地や山地に生息する。日本産のニホンツキノワグマはアジアクロクマの亜種。

特徴：ツキノワグマの名のとおり胸に半月上の白い斑模様をもつ個体が多いが、すべてにあるわけではない。

頭胴長：120～180cm

体重：オス 50～150kg、メス 42～90kg

習性等：

- ・ふつう単独でくらす。
- ・植物の葉、実、根、昆虫などを採食する。
- ・3歳で性成熟する。
- ・妊娠期間は210～240日間だが、着床遅延がある。
- ・出産は12月～3月、1産1～2仔
- ・寿命は、飼育下で33年という記録がある。

## (2) 保定方法とマイクロチップの埋込み

### ア 保定の方法

#### A 器具を使用しない保定法

人力による保定は不可能である。

#### B 器具を使用した保定法

スクイズ・ケージが利用可能なら、スクイズ・ケージに収容し、可動壁を動かして動物を固定する。

#### C 麻酔法

クマ類の麻酔にはケタミンが好んで使われる。ケタミン 10mg/kg 単独、ケタミン 10mg/kg とキシラジン 5～10mg/kg、あるいはケタミン 2.5mg/kg とメデトミジン 0.03mg/kg を併用し筋肉内に投与する。拮抗剤としてキシラジンに対してヨヒンビン 0.125mg/kg を静脈内に徐々に投与する。メデトミジンに対してはアチパメゾールをメデトミジンの5倍量を筋肉内に投与する。拮抗剤は、ケタミンがある程度代謝される 30～45分後を目安に投与する。ただし、メデトミジンの併用で覚醒遅延が起きたという報告もある。

#### **D 特に注意すべき事項**

化学的保定時にあっても突然の動物の動きに備えて、丈夫な網で体全体を被っておくとい。

#### **イ マイクロチップの埋込みの方法**

##### **A 埋込みの部位**

肩甲骨間の皮下に埋込む。

##### **B マイクロチップ埋込みの実際**

横臥あるいは伏臥姿勢としてマイクロチップを埋込む。術部はイソジン綿か70%アルコール綿で消毒し、埋込み器の針を上記の皮下に刺入しマイクロチップを埋込む。マイクロチップの脱落を防ぐため、皮膚の穿刺痕に外科用接着剤を塗布し、外用散剤を散布する。